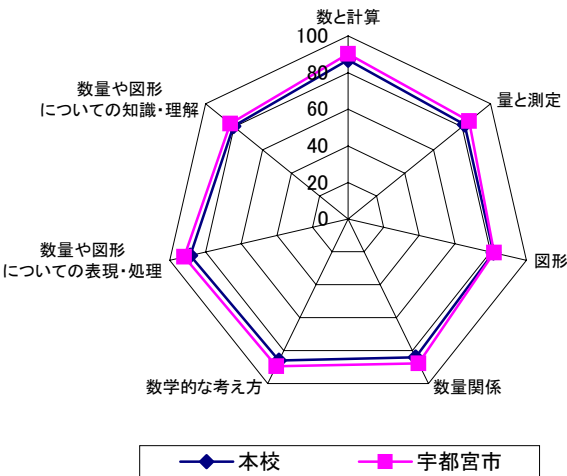


宇都宮市立宝木小学校第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	87.0	90.2
	量と測定	81.9	85.0
	図形	81.4	81.8
	数量関係	84.1	87.8
観点別	数学的な考え方	86.1	89.6
	数量や図形についての表現・処理	88.5	91.8
	数量や図形についての知識・理解	80.6	82.6



★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
数と計算 (87.0%)	・平均正答率は80%を上回り、他の領域より高く、十分達成している。 ・繰り下がりのあるひき算の計算や大きな数の理解は市の平均を下回っている。	・繰り下がりのあるひき算やかけ算を中心に反復練習や習熟度別学習でさらに習熟を図る。 ・大きな数については十進位取りを理解させ、次の「億」「兆」への学習につなげたい。
量と測定 (81.9%)	・平均正答率は、ほぼ達成している。 ・時刻と時間ではある時刻から経過した時刻の求め方、かさでは単位の大きさの理解の定着が不十分である。	・時間の求め方については、時計の図や時間の線分図を書いて求められるように個に応じて指導し、定着を図るようにする。
図形 (81.4%)	・平均正答率は、ほぼ達成している。 ・図形の弁別はできているが、三角形や四角形の構成要素の理解は市の平均を上回っていても、80%に達していない。	・図形の構成要素や基本図形の特徴、図形同士の相違点、類似点等の理解を深めるために、描いたり切り取ったりする作業や操作活動の時間を十分取り入れるようにする。
数量関係 (84.1%)	・平均正答率は80%を上回り、十分達成している。 ・棒グラフの読み方ほぼ達成できているが、書き方の問題で誤答が見られた。	・棒グラフの目盛りの読み取りの定着を図るため、多様な問題に取り組ませるようにする。 ・棒グラフを書く作業を多く取り入れ、一目盛りが表す量をつかませるようにする。